月刊 **書字文化**

～日本書字文化協会機関紙 No３８～

平成 28 年　**夏　号**　毎月 10 日発行

一般社団法人日本書字文化協会
代表理事・会長　大平恵理
〒164-0001　東京都中野区中野 2-13-26　第一岡ビル３階
電話０３－６３０４－８２１２　FAX０３－６３０４－８２１３
ホームページ http://www.syobunkyo.org

目次

◇ 第五回総合大会案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
◇ コラム「こころ」（大平恵理）・・　・・・・・・・・・・・・　3
◇ 「仲間」土佐のはちきん中野めい・・・・・・・・・・・・・4
◇ 新・硬筆検定の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
◇ コラム「きのう・今日・あす」（渡邉啓子）・　・・・・・・　8
◇ 事前参加登録から出品までの流れ・・・・・・・・・・・・9
◇ コラム「教学半」（池田圭子）・・・・・・・・・・・・・　１１
◇ コラム「こ・こ・だ・けの話」（谷口泰三）・・・・・・・　１２

第５回全国書写書道総合大会案内

＜締め切り＞

◇ひらがな・かきかたコンクール　　7 月 29 日（金）
◇全国学生書写書道展（毛筆のみ）
　公募の部　　9 月 16 日（金）
　席書の部開催　　9 月４日（日）まで
◇全国硬筆コンクール
　公募の部のみ　　9 月 16 日（金）

◎参考手本、評価の観点（ひら・かき除く）がホームページにあります

＜手続き＞

最初の１枚…団体参加（予定）申込書・・・ホームページに掲載。総合大会全てのコンクールに共通の各種用紙請求書です。請求いただけるのは、参考手本、応募総括用紙、応募明細用紙、個人別事前参加登録用紙、毛筆出品表、席書き会場申請書、硬筆共通清書用紙です。

申し込み表には書塾用と園・学校用の２種類あります。園・学校から申し込みの場合は、お支払いの金額欄にご注意下さい。参加予定園児、生徒１人につき参考手本１枚、共通清書用紙２枚は無料となり、これを超えた分が有料となります。送料は無料分を含めた額となります。申し込み用紙は書文協ホームページに掲載されていますので、ダウンロードしてお使い下さい。

７月２０日までは総合大会説明の末尾、２１日以降は―ムページ１面（フロント）左側のタスクバー「各種ダウンロード」から入ってください。

現物をご希望の方は書文協本部に請求ください。ＩＤ、パスワードはお問い合わせください。

＜振込先＞

郵便当座口座番号
口座記号　00130-1-728113　　加入者　一般社団法人日本書字文化協会

こ こ ろ

大平　恵理（書文協会長）

際（きわ）を大事に

船舶四級免許をとつたことがあります。免許は切れましたし、免許内容もその後変わりましたが、当時はクルザーやモーターボートも乗れる免許でした。山中湖なとで書写書道の生徒たちとボート遊びに使うのに取りました。そんな若いころもあったのです。

その当時思ったのは、離岸と接岸が一番難しいということでした。つまり、水と陸の境の行き来が大切だということです。重大事故も起きやすいのです。岸に向かう角度、スピードを考えないと、船は岸壁に衝突します。離れる時も周囲の状況、進行角度をよく測らなくてはいけません。他の船とぶつかってしまいます。

この際（きわ）が大事と、いうことは書写書道にもそのままあてはまることです。筆と紙が接する際が肝要だからです。始筆と終筆のあり方が問われるわけで、自分には船の運転も運筆も呼吸は同じと思えていました。

今，五十路に差し掛かって、この「際（きわ）が大事」ということをかみしめています。船に限らず人との付き合いにこそ、それが大切だと思うようになりました。塾や学校の先生方ら多くの人に接します。下手をするとぶつかって相手におもわぬ怪我をさせてしまいます。相手との距離を測り、こちらの進行角度・スピード（　物言い）　をよく考えて接することが肝要だと思うようになりました。若気の運転ミス、では済みません。振り返って、反省することばかりです。忙しさにかまけて、ここの回路（スイッチ）をＯＦＦにしたままだったことが何度もあったように思います。

多くの先生に許されて、支えていただいてここまで来ました。改めて、お礼申し上げます。

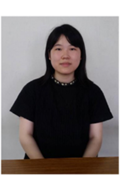
仲間

不定期の企画「仲間」を久々に掲載します。幼児から大学生まで、書の学びを続ける人たちに、仲間を知ってもらい、共に学びを続けてもらうのがこの企画のねらいです。（インタビュアー、書文協専務理事・谷口泰三）。

1年生でも読めるように、漢字はオール振り仮名としました。自動振りのままです。小さい子は頑張って読んで下さい。大きい人は読みにくくても我慢してください。

土佐（とさ）のはちきん中野（なかの）めい（１９）

自己推薦（じこすいせん）で早稲田（わせだ）に入学



高知県安芸郡田野町

高知の書塾指導者、岡田慶子先生から電話がありました。「教え子が早稲田大学に入りました。落ちついたようなので挨拶に行かせます」。

久しぶりに母校の後輩です。楽しみに待っていると、いかにも素朴なヤングレディが現れました。気の強さと優しさが眉根に出ています。「これが、はちきん、か」と思いました。はちきん、知っていますか？男勝りの高知の女性を指します。「はちきん先生」。はっきり、快活、気が良くて、

負けず嫌い。高知の男性の「いごっそう」と対の言葉です。一つの県で男女共に綽名があるのは珍しいですね。

まずは、早稲田の先輩として臨みました。「地方に帰る、これが早稲田精神の真髄である」とひとくくり。このところ東京の私学も、ほとんどが東京圏出身者で地方色は薄らいでいます。土臭さ、野暮ったさが早稲田の売りだったのですが。

どこの学部に入ったのかなど事前に何も聞いていませんでしたが、全てが予想どおりでした。

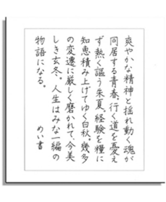
「教育学部の自己推薦入試に合格したんでしょ」「ハイ」。「書写書道をやっていたことが良かったでしょ」「ハイ、とっても」「面接で、エントリーシート（志望理由書）を見た教授から、字がきれいだね、とほめられたでしょ」「ハイ、最初に」。

一芸に秀でた者を取る早稲田大学教育学部の自己推薦入試は、今はやりのAO入試などの先駆けとして誇れるものだと思います。その人が何に打ち込んできたか、早稲田で学問していくポテンシャリティ（潜在力）＝継続する力はあるかに注目し、高校時代のペーパー学力成績は、あまり考慮していないようです。どんな大会で、どんな成績をとったか、という資料を提出します。中野さんは年中から硬筆、小１から毛筆をやってきました。コンクール歴は誇れるものがいろいろあります。

10年ほど前、早稲田の入試課長さんに聞いてみました。「この入試で大丈夫ですか」。当時、女性の課長さんでしたが、きっぱりと答えたのが印象に残っています。「私ども、自己推薦合格者は卒業まで追跡調査しています。その結果、学業成績もリーダーシップも期待通り育っていることが分かっています」。

予想外だったのは早稲田を受けた理由。「父（56）が母校じゃないけど早稲田が好きで、ぜひ行け、と言ったからです」。この欄でも紹介した大阪の書道ガール、阿部智恵（さとえ）さん（大阪教育大学2年）の時も、タイガースファンのお父さんの影が濃厚で感心したことがあります。はちきんの陰にオヤジあり、なのでしょうか。

冒頭の「早稲田は田舎に帰る」も期待通りの答えでした。「卒業したら高知に帰ります。学校の先生を目指します」。彼女は国語・国文学専攻。あまりにきっぱりとした口調に、先輩の方が、なぜ郷里・福井に帰る夢を逸したかを語る羽目になりました。さらに感心したのは、このお盆に岡田先生が開く席書大会に出場するために帰るということです。「参加するだけでなく、手伝うんだよ。ずっとやっていくんだよ」。最後に、書道サークルに入ったという中野さんに、東京の学生たちに書写書道を広めるように頼みました。（おわり）



第４回書写書道総合大会受賞作品
■全国学生書写書道展（毛筆作品右→）
■全国硬筆コンクール（硬筆作品上↑）

新・硬筆検定の特色

改革が具体的に進む新・硬筆検定（1課題受験料５００円）は教室で使いやすく効果があることを目指しており、その方向は、検定・ライセンス改革全体の方向を示すものです。他コース・他団体検定からの乗り換えは各教室の要望を最大限に尊重し、生徒の意欲を大事にします。また、移設後、書文協新検定のレベルに乗って走れるよう努力と工夫を重ねます。

① 楷書・行書・草書の一本化

現行は、楷書と行書の2コースに分かれ、各120課題と長丁場になっていますが、じっくり実力を養成する現行コースとは別に、楷書・行書を一本化、さらに草書の勉強を加えた検定を設置したものです。学校教育でも硬筆にスポットライトが充てられる昨今、手紙文作成など日常使用の要望が強い行書に触れる機会を早めたものでもあります。

② 累計点方式を取らない

新・硬筆検定は、各課題ごとにクリアするべき「評価の観点」を明示、これをクリアしているかを評価し、「合格」「不合格」で判定します。課題順番を行きつ戻りつしながら累計点をためていく現行方式にも良さはありますが、評価の観点の積み上げを重視しました。「評価の観点」は止め、はね、払い、点画など約50項目あります。

③ ワンポイント添削

一本化した代わり全体の学ぶ密度は濃縮されており、検定作品はワンポイントの添削が行われ、返送されるところが現行検定と大きく異なります。教室の先生の補助的効果となるよう工夫したものです。

④ 新テキストを発行

現在、新・硬筆検定のテキスト（計15巻）は第６巻（小学６年生標準）まで発行されています、７巻以降の発行が遅れていて申し訳ありません。どなたも1巻から順に受けていただくことを原則としていますが、１回の受験課題数に制限はありません。ＫＡＤＯＫＡＷＡ（角川書店）から最近出版された「はじめてのえんぴつれんしゅうちょう」（大平恵理著）は、幼稚園・保育園児向けに本シリーズの前段となる検定テキストを兼ねており、合格すれば８級までが付与されます。

また、本テキスト（１５巻シリーズ）とは別に、小学校中・高学年を対象に「ドラえもんのおもしろ国語攻略　きれいな字が書ける」（大平恵理指導）が小学館から出版されました。

きのう 今日 あす

渡邉　啓子（書文協副会長）

些細なこだわり

書写書道で手にする道具。書きやすい、使いやすいものを探して店をはしごしたり、注文して作ってもらったり、こだわりは尽きません。 普段過ごす中でも筆記具は常に気になる存在で、名前を刻して使用したり、贈り物にしたり、、、

逆に他の方のも気になり、筆記具や持ち方を見ては「この方はこだわり持っていらっしゃるのかな。この方いい持ち方している、どこで学んだのだろう。あぁ、持ち方と文字でイメージダウン、、、」等と勝手な思いが巡ります。

その物自体へのこだわりもありますが、何かにこだわりや誇り、自信を持っているものの象徴に思えるのです。

それらは表舞台ではっきり見えてきますし、手入れも念入りです。

そんな中で私が些細なこだわりを持っているのが裏舞台にいる雑巾です。「汚い、臭い」のイメージもありますが、そこをブランド等のきれいなタオルを使用し、常に石鹸で洗います。私の中で雑巾は「きれいで、いい匂い」です。

そんな雑巾ですが、毎回練習が終わると、必ず机や身の周りを拭いてきれいにして帰る子がいます。中でもある小学５年生の男の子はピカイチで、自分の陣地以外もサッと拭いていきます。「いつも本当に偉いね。」と言うと「僕はきれい好きだからね。家以外の場所も汚してはいけないし、きれいに使わないとね。」とあっさり返ってきます。

また、席書大会や講習会でも会場整備や片付けがあっという間に終わります。

文字を学ぶ中で「大会で賞をとる。いい成績を修める、、、」という華やかな部分の傍らで、本当に大切なものも育んでいる子たちの成長を嬉しく思います。

検定・ライセンス受験、大会応募、講習会参加

事前参加登録から8出品までの流れ

所属者一覧表の整備

年度始めに、これまでの参加記録、及び事前登録（旧名・個人登録）から作った所属者一覧表を各団体にお送りします。

既所属者については、新進学校名、住所など訂正箇所があれば修正書き込みを、退出者については棒線で削除してください。学年は既に１年進行していますのでご注意ください。新規所属者については、事前登録（詳しくは次項目を参照）を行ってください。

個人別事前参加登録（旧名・個人登録）

事前登録は必ずしも参加を前提とするものではありません。事前登録をすませると出品券（下の写真）が発行され、さまざまな参加の機会に出品券を使うことができます。それによって成績等の履歴が正確に保管されます。検定ではすでに事前登録を完全実施しています。

事前登録は所定の個人別事前参加登録用紙を使用してください。ホームページからダウンロードできます。ご希望があれば事務局から送付もいたします。ご請求から約１０日間ほどで各団体宛てに人数分の枚数をお送りします。これを所属の生徒さんに配って、名前、性別など所要の書き込みを頂き、書類をそのまま束ねて書文協本部に送り返してください。先生が書き込みいただいても結構ですが、事前登録用紙は検定・ライセンス、全国大会の概略を説明する物にもなっていますので、できるだけ生徒さんにも読んでいただければ幸いです。なお、学校などの場合は、先生が必要事項を一覧表にまとめ、一括して事前登録することもできます。

出品券の発行

事前登録に基づき**出品券**（写真）を作成します。出品券は、毛筆作品は出品票の所定の位置、硬筆は共通清書用紙の所定の位置に貼ってください。その後の作業は個人番号に基づいて処理されます。個人名の字体もこの出品券に基づきます。

☆事前参加登録のメリット☆

出品時の作品整理の手間が軽減

すでに参加予定者を大会事務局にお知らせいただいているので、いざ作品を送る時は応募明細用紙に出品点数を書き、作品に出品券を貼付するだけになります。（団体審査を行った場合は成績を記入してください）そのため、出品目録の作成も不要となります。これは、検定・ライセンス受験の場合も同じです。

成績証明書の発行

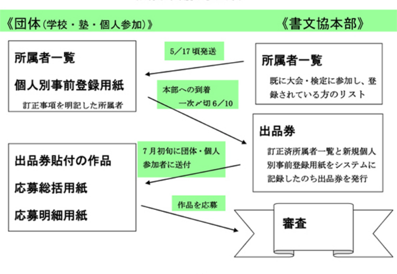
検定、大会受験や保持する段級やライセンス、大会参加成績記録などに基づき、団体及び個人の請求に応じ成績証明書を発行（有料、履歴照会は送料のみ）。

生涯教育、リカレント教育の手助け

システムは教室をサポートします。また、子育てが終わって再び書の学びに帰るリカレントを目指す人たちのためにも役立つと思います。この事前登録システムは、各教室とそこで学ぶ人たちの良き伴走者を目指すものです。

事前登録制度の図

（日付は今年度のものです）



教 学 半

教えるは学の半ばなり（書経から）

池田　圭子（書文協教学参与）

園児は毛筆が好きそう

幼稚園児に毛筆の一斉授業は成立するだろうか。書文協がこんな試みに挑戦することになり、私に実践の白羽の矢が立ちました。東京都府中市にある北山幼稚園で昨年から月２回、正課授業を受けもっています。「園児にも日本の伝統文化に触れさせたい」という山縣廸子園長のオファーを受けることにしたのです。

最初の半年ほど、この月刊書字文化でも毎号紹介させていただいたので、ご記億の方もいらっしゃると思います。学校の先生方の教科研究団体「全日本書写書道教育研究会」の東京大会（平成２７年夏）でも研究発表をさせていただきました。２回目に入った今回は、今年１月から、年中さん時代から始めた現年長児を教えています。８月１８，１９，２０日の３日間作品発表会が予定されており、７月１２日は授業の最終日。詳しいまとめは後日にして、１２日の様子を書いておきたいと思います。

今日（１２日）授業を受けたのは年長児１０５人のうちお休みの子を除いて９７人。６班に分けて２０分ずつ、仕上げを行いました。最初は自分の名前もおぼつかないどころか、平仮名がなんだか分からない子も多くてどうなることかと思いました。しかしあれから１年弱。今日の授業では持てる力を出し切って、何とか良い字を書こうという気持ちのにじむ取り組みが目立ちました。これこそ求めていたものです。よく仕上げたと思います。

こ・こ・だ・けの話

谷口　泰三（書文協専務理事）

さむらい商法

書文協本部に架かって来た電話をたまたま谷口が取りました。7月６日のことです。架けて来たのは書塾の女の先生でした。主婦業の傍ら、子供らを集めて書写書道を教える、よくあるタイプですが、何か言いたげ。「どうされました？」。先生は堰を切ったように話されました。

今使っている手本の字が下手過ぎて困る。これではどうしようもない。審査が甘い。生徒のためにならない…。

不平は書文協に対してではありませんでしたが「審査に情実が入ってはいけません。（書写書道）業界全体の評判にかかわる話で困りましたね。手本は、先生の方が上手だということでしょうね」と答えました。主婦業兼務の先生たちは営業を抜きにして、書写書道に真っ直ぐな、曇りない心を持っています。筆者などは、関西のある先生から「あんたなんか、薄汚いおっちゃんや」と怒鳴られたことがあります。ただ、教育的配慮が必要な場合もあるし、非営利団体といえども本当は採算がとれなくてはいけません。そこが薄汚い、と言われる原因になるのでしょうね。しかし、審査の団体として公明正大こそ譲れない一線と腹を固めていますし、手本にも自信があります。

６月末、今度、書文協のコンクールに出品することにした、という小学校の先生と会いました。その男の先生は「前に出していたコンクールでは賞を乱発するんですよ。うちはそんなつもりで出しているんじゃないのですがね」。我が意を得た思いで言いました。「先生は教育の何たるかが良く分かっていらっしゃる。それと、書写書道教育の権威者が集まるうちの中央審査委員会の審査にそういうことはあり得ません」。

媚びたいけれど媚びない。武士は食わねど高楊枝、で参りたいと思います。

◇　　◇　　◇

専務理事として書文協の主に営業面を預かる谷口もコラムを書くことにしました。題して「ここだけの話」。たいして何も隠すものはない書文協ですが、ちょっと気を引く題をつけてみました。ご愛読下さい。

早期申込み表（FAX 03－6304－8213）

団体名　　団体責任者　　様　会員資格（有　無）
電話番号　　（携帯）
住所　〒
納品希望日　　月　　日（　）までに送付
注文内容（価格はいずれも消費税込み）
幼児編上　冊　×　６１５円＝　　円　会員の場合×０．９＝　　円
幼児編下　冊　×　６１５円＝　　円　会員の場合×０．９＝　　円
新硬筆検定テキスト　各巻とも定価６１５円
◆１巻　冊◆２巻　冊◆３巻　冊◆４巻　冊◆５巻　冊◆６巻　冊
（新検定合計）各巻合計　冊×６１５円＝　　会員の場合×０．９＝　　円
合計　　冊　　　円

郵送料について
①３冊まで１０５円　②４～５冊３６０円　③６～５８冊５４０円～１２９６円
④５９冊以上無料（③については本部にご相談下さい）

下記は本部使用

注文受付者		出庫者		発送日		納品書番号		送料	¥
備考						送付日		月　日	